

工 種	舗装版クラック補修工
-----	------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																	
		現 行																																			
3. 施工パッケージ 3-1 クラック補修 (1) 条件区分 クラック補修における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. コンクリート舗装版の注入材によるクラック補修の他、諸雑費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、注入材（材料費）は含まない。 2. 補修延長は、クラックの対象延長とする。 3. 注入材の材料費は別途計上する。 4. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））、アスファルトケトルの各機械損料・運転経費及びほうき、ハケ、プライマー等の費用である。 5. プライマー塗布、注入施工の有無にかかわらず適用出来る。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.1 クラック補修 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table> 3-2 注入材（材料費） (1) 条件区分 注入材（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. 注入材料m当りの使用量は、必要量を計上する。なお、標準的な注入材料の使用量は、次式による。 G＝〔g×W×D×（1＋割増率）〕／10 ……式3.1 G：補修延長m当り数量（kg） g：注入材の比重（kg／ℓ） W：補修幅（cm） D：補修深さ（cm） 割増率は＋0.23とする。 2. 割増率の内訳は、諸雑費と注入材のロスである。（注入材の標準ロス率は、＋0.10） 3. 諸雑費の内訳は、「3－1 クラック補修（注）4」に示す。 11・④・2		表3.1 クラック補修 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	現行どおり <	
表3.1 クラック補修 代表機労材規格一覧																																					
項目	代表機労材規格	備考																																			
機械	K 1	—																																			
	K 2	—																																			
	K 3	—																																			
労務	R 1	普通作業員																																			
	R 2	土木一般世話役																																			
	R 3	特殊作業員																																			
	R 4	—																																			
材料	Z 1	—																																			
	Z 2	—																																			
	Z 3	—																																			
	Z 4	—																																			
市場単価	S	—																																			

工 種	舗装版クラック補修工
-----	------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																											
現 行				改 正				備 考																																																											
3－3 クラック防止シート張 (1) 条件区分 クラック防止シート張における積算条件区分はない。 積算単位は、 mとする。 (注) 1. コンクリート舗装版・アスファルト舗装版のクラック防止シート張り作業の他、諸雑費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、クラック防止シート（材料費）は含まない。 2. 補修延長は、シート張の施工延長とする。 3. クラック防止シートの材料費は別途計上する。 4. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））の機械損料・運転経費及びほうき、ハケ、プライマー等の費用である。 5. 転圧施工の有無にかかわらず適用出来る。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 2 クラック防止シート張 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 8～20t</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table> 11・④・3				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 8～20t		K 2	－		K 3	－		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手（特殊）		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	－		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		現行どおり (注) 1. コンクリート舗装版・アスファルト舗装版のクラック防止シート張り作業の他、諸雑費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、クラック防止シート（材料費）は含まない。 2. 補修延長は、シート張の施工延長とする。 3. クラック防止シートの材料費は別途計上する。 4. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））の機械損料・運転経費及びほうき、ハケ、プライマー、クラック防止シートロス分等の費用である。 5. 転圧施工の有無にかかわらず適用出来る。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 2 クラック防止シート張 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 運転質量 13～14t</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr></table> 現行どおり (注) クラック防止シート（材料費）は、ロス率を考慮した数量を入力すること。なお、ロス率は+0.15 とする。				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 運転質量 13～14t		K 2	－		K 3	－		記載の修正・削除	
項目		代表機労材規格	備考																																																																
機械	K 1	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 8～20t																																																																	
	K 2	－																																																																	
	K 3	－																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																	
	R 2	土木一般世話役																																																																	
	R 3	特殊作業員																																																																	
	R 4	運転手（特殊）																																																																	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																	
	Z 2	－																																																																	
	Z 3	－																																																																	
	Z 4	－																																																																	
市場単価	S	－																																																																	
項目		代表機労材規格	備考																																																																
機械	K 1	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 運転質量 13～14t																																																																	
	K 2	－																																																																	
	K 3	－																																																																	
								記載の変更 (追加)																																																											
積算上の注意事項								(控え頁) 2／2																																																											